

研究業績一覧 (2015年)

秋山 憲治 (アキヤマ ケンジ)

1 論文

“New Silk Road and Central Asia from a “Geo-Economic” Perspective”, *Tsuji, T., Wu Y., Riku Y. (eds) (March 20, 2015), Rebirth of the Silk Road and a New Era for Eurasia*, Yachiyo Shuppan

2 学会関係

岩田伸人報告「WTO 下で多様化する地域統合の課題と展望」(コメント) 日本貿易学会第55回全国大会 (九州国際大学)、2015年5月30日

“TPP and Negotiation Issues” (シンポジウム報告) Royal University of Phnom Penh (RUPP) and Japan Academy for Asian Market Economies (JAFAME) Joint International Symposium, March 26, 2015

3 その他

「カンボジアを訪問して」(研究調査報告) アジア研究センター・ニュース・レター『CAS News Letter』(No. 4)、2015年12月

「カンボジアの経済発展—課題と展望—」(講演) 神奈川大学生涯学習・エックステンション講座、2015年10月8日

「日本の経常収支の赤字化と今後の対応」(アジア研究センター・成均館大学共催セミナー報告要旨)、アジア研究センター年報2014-2015 『神奈川大学アジア・レビュー』(Vol. 2)、2015年3月31日、129頁

「日本の対外経済状況の変化と今後の日・中経済関係」(海外講演報告) アジア研究センター年報2014-2015 『神奈川大学アジア・レビュー』(Vol. 2)、2015年3月31日、132-138頁

『メコン地域開発と ASEAN 共同体—地域格差の是正を目指して—』(書評) アジア研究センター年報2014-2015 『神奈川大学アジア・レビュー』(Vol. 2)、2015年3月31日、148頁

飯塚 信夫（イイツカ ノブオ）

1 書籍

『入門・日本経済（第5版）』（共編著）、有斐閣、2015年3月

2 論文

「日本における民間予測の歴史と意義」、『統計』12月号、pp.33-38、2015年12月、日本統計協会

「政府の物価見通しの精度」、『経済貿易研究』No.41、pp.29-40、2015年3月、神奈川大学経済貿易研究所

3 学会発表

「経済予測専門家の月次予測集計からわかったこと—11年間のESPフォーキャスト集計の経験から」、経済統計学会 第59回全国研究大会（北海学園大学）、2015年9月11日

「経済予測専門家の月次予測集計からわかったこと—11年間のESPフォーキャスト集計の経験から」、2015年度統計関連学会連合大会（岡山大学）、2015年9月9日

“What have we learned from a Monthly Survey of Professional Forecasters?: Evidence from 11 years of ESP Forecast Survey experience in Japan.” EURO 2015 in Glasgow、2015年7月14日

4 講演等

「GDP推計が抱える問題点について」、日本経済研究センター、2015年12月10日

「経済・金融統計の見方」、平成27年度統計研修課程・本科(117期)、総務省統計研修所、2015年11月27日

「法人企業統計と毎月勤労統計について」、内閣府統計委員会担当室、2015年10月30日

「各種経済指標の見方・使い方」、2015年度経済分析基礎研修、経済産業省、2015年9月4日

5 書評

「小巻泰之著『経済データと政策決定』』『経済セミナー』8・9月号、p.133、2015年8月、日本評論社

6 その他（書評、エッセイなど）

「岐路に立つ日本の景気—2四半期連続のマイナス成長?」『改革者』11月号、pp.38-42、2015年11月、政策研究フォーラム

産労総合研究所『賃金事情』における以下の連載

「人事に役立つ経済データの読み方」

- 「設備投資、ほんとに低迷？」（2015年12月20日号）
- 「毎月勤労統計調査にご注意を？」（2015年11月20日号）
- 「第3次指数にみるサービス業の構造変化」（2015年10月20日号）
- 「製造工業予測指数の読み方と生産の行方」（2015年9月20日号）

- 「基準改定」って何？なぜ行う？」(2015年8月5日・20日号)
- 「出生率と出生数の微妙な関係」(2015年7月20日号)
- 「経済成長率の観察、在庫に注意」(2015年6月20日号)
- 「個人消費は「底堅い」のか？」(2015年5月20日号)
- 「「春節要因」にご注意を」(2015年4月20日号)
- 「旅行収支の赤字幅が縮小」(2015年3月20日号)
- 「日本の貯蓄率がマイナスに？」(2015年2月20日号)
- 「「原油価格急落、日本経済への影響は？」(2015年1月5日・20日号)

出雲 雅志 (イズモ マサシ)

1 研究論文

「戦前日本のリカードウ研究—1869–1929年試論—」成城大学『経済研究所年報』第28号、133–162、2015年4月

浦上 拓也 (ウラガミ タクヤ)

1 学会発表

「食品メーカーのデュアル・ブランド戦—NB and/or PB—」日本商業学会関西部会（関西学院大学）、2015年6月28日

2 講演

「食品メーカーのデュアル・ブランド戦略—NB and/or PB—」コーネル大学リテール・マネジメント・プログラム・オブ・ジャパン（法政大学）、2015年5月14日

3 その他

「高品質 PB とメーカーの戦略転換」『中部経済新聞』、2015年2月11日

大滝 英生 (オオタキ エイセイ)

1 研究論文

“Monetary equilibria and Knightian uncertainty”, *Economic Theory* 59 (2015), 435–459 (with H.Ozaki)

2 学会報告

“Ambiguity, liquidity, and the optimum quantity of money”, 日本経済学会2015年度秋季大会（於 上智大学）、2015年10月11日

岡村 勝義（オカムラ カツヨシ）

1 論文

「一般社団・財団法人の公益認定基準の検討」『非営利法人研究学会誌』第17号、2015年7月、1～12ページ

奥田 麻衣（オクダ マイ）

1 学会報告

「防災教育と道德教育—三原市立第二中学校の取り組みについて—」日本道德教育方法学会第21回研究発表大会（大阪教育大学）、2015年6月13日（上村崇氏との共著）

「学生の社会とつながる態度の涵養を目指した技術習得系科目の授業デザインの検討—経済学部の情報処理科目を対象に—」第21回大学教育研究フォーラム（京都大学）、2015年3月13日

2 研究助成

「交易理論に基づく協調的問題解決力を育成する体験型教材の開発と評価」平成27年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）・若手研究（B）、課題番号15K16265

「小田急沿線のインバウンド拡大を目指すVRソーシャルゲームアプリの開発と社会実験」公益財団法人小田急財団、2015年度研究助成

奥山 聡子（オクヤマ サトコ）

1 論文

“The possibility of a border economic zone : Asian Golden Quadrangle”, Routledge, Chapter8 in “Poverty, Inequality, and Growth in Developing Countries ; Theoretical and empirical approaches” edited by Atushi Maki, pp.182-210, 2015

兼子 良夫（カネコ ヨシオ）

1 研究論文

「法人事業税の改革と地方分権」『熊本学園大学経済論集』第22巻第1－2合併号、pp.49－63、熊本学園大学経済学会、2015年

2 研究報告

「個人住民税制度改革の説得と配当所得」日本説得交渉学会第8回講演・研究大会、愛知産業大学短期大学、2015年10月（黒田克裕氏との共著）

児玉 謙太郎 (コダマ ケンタロウ)

1 学術論文

“Differing Dynamics of Intrapersonal and Interpersonal Coordination : Two-Finger and Four-Finger Tapping Experiments”, *PLOS ONE*, 10(6), 2015. (with N. Furuyama & T. Inamura)

2 学会発表

“Effects of slackline training on dynamic postural balancing”, *Second International Workshop on Skill Science Associated with JSAI International Symposia on AI 2015 (IsAI-2015)*, Keio University, Nov. 18, 2015. (with H. Yamagiwa & Y. Kikuchi)

“Whole-body coordination skill for dynamic balancing on a slackline”, *Second International Workshop on Skill Science Associated with JSAI International Symposia on AI 2015 (IsAI-2015)*, Keio University, Nov. 18, 2015. (with Y. Kikuchi & H. Yamagiwa)

「加重による負荷が跨ぎ越え動作の知覚と行為の乖離に及ぼす影響」 2015年度日本認知科学会第32回大会 (千葉大学)、2015年9月20日 (安田和弘・園田耕平・青山慶・樋口貴広氏との共著)

“Can hermit crabs use ‘dynamic touch’?”, *34th International Ethological Conference 2015, Session : Animal Navigation and Tracking : Adventures in Sea, Land and Sky*, Cairns, Australia, Aug. 9-14, 2015. (with K. Sonoda, M. Migita, T. Moriyama, Y.-P. Gunji)

3 研究助成

「障害物回避行動における身体動作のダイナミクスに関する研究—つまずきによる転倒予防のための跨ぎ越え動作の分析—」 神奈川大学共同研究奨励助成金 (平成27～28年度)

4 その他

【シンポジウム話題提供】

「適応的な身体システムの定量評価：知覚－行為の協調にもとづく健康な身体づくりに向けて」 笹川科学研究助成・笹川スポーツ研究助成 合同シンポジウム「未来を創る研究者が目指すもの」(東京)、2015年9月6日

【メディア掲載】

「未来を創る研究者が目指すもの」 読売教育ネットワーク、2015年10月 (Vol.9)

「未来を創る研究者が目指すもの」 科学新聞、2015年10月2日

五嶋 陽子 (ゴトウ ヨウコ)

1 論文

「ローズヴェルト政権下の再編」『商経論叢』第50巻第3・4合併号、2015年4月、pp.57-77

2 学会報告

「人口問題と所得税改革」日本財政学会第72回大会（於中央大学）、2015年10月17日

小林 康宏（コバヤシ ヤスヒロ）

1 著書

『経済成長の幻想—新しい経済社会に向けて—』丸山恵也・熊谷重勝・その他編、第Ⅰ部第6章担当「多国籍企業における資本の論理」60～79頁、創成社、2015年11月

酒井 良清（サカイ ヨシキヨ）

1 著書

『入門・日本経済 [第5版]』浅子・飯塚・篠原編「第8章 金融・金融政策—デフレの発生とその対策—」275～308、2015年3月、有斐閣

佐藤 孝治（サトウ コウジ）

1 著書・論文

『臨海部コンビナート施設の地震リスクマネジメントガイドライン報告書』（共著）、一般財団法人産業施設防災技術調査会、1～56頁、2015年12月
「大規模災害と犠牲者への対応：首都圏斎場の能力と課題（上）」『自治研月報神奈川』第155号、12～20頁、2015年10月

2 講演他

「巨大災害と失敗の教訓」防災塾・だるま『防災まちづくり談義の会』（神奈川大学横浜キャンパス）、2015年12月18日
「格差社会の若者たち—大学で学ぶことの大切さを考える」神奈川県立綾瀬高校出張授業（神奈川県綾瀬市）、2015年12月17日
「格差社会の若者たち—大学で学ぶことの大切さを考える」神奈川県立二宮高校特別講義（神奈川大学横浜キャンパス）、2015年10月23日
「巨大災害と失敗の教訓」一般財団法人産業施設防災技術調査会・コンビナート施設の地震リスクマネジメント研究会（東京都新宿区、早稲田大学理工学術院）、2015年8月26日
「巨大災害と高齢者の防災—東日本大震災の経験から学ぶこと」医療法人善和会特別講演会（大分県大分市、善和会講堂）、2015年7月27日
「臨海コンビナートの地震防災対策—東日本大震災時の東京湾岸の被害から考える」大分政経懇話会講演会（大分合同新聞社）、（大分県大分市・トキワ会館、臼杵市・喜楽庵）、2015年3月9～10日

3 その他

「環境政策を参考に事前防災を」『大分合同新聞』、2015年3月20日朝刊

「臨海コンビナートの地震防災対策—連鎖的に被害拡大も」『大分合同新聞』、2015年3月11日朝刊

「遠い復興—残る痕跡、遅れる工事、長引く避難」『大分合同新聞』、2015年3月9日夕刊

佐藤 睦朗（サトウ ムツオ）

1 書評

「塚田秀雄訳著『カール・フォン・リンネの地域誌—『スコーネ旅行』に描かれた自然・経済・文化—』『歴史と経済』第229号（2015年10月）、68～70頁

2 学会報告・コメント

「18－19世紀スウェーデンにおける「家族農場」の成立」バルト＝スカンディナヴィア研究会7月例会（早稲田大学）、2015年7月25日

「スウェーデン農民層の農場継承と「家」—18－20世紀における「家族農場」の成立過程—」（共通テーマ：「家と共同性」）比較家族史学会第57回研究大会（札幌大学）、2015年6月21日

「藤田幸一郎『ヨーロッパ農村景観論』（日本経済評論社、2014年）をめぐって—スウェーデン農村史の視点から—」社会経済史学関東部会（東京大学）、2015年1月25日

玉井 義浩（タマイ ヨシヒロ）

1 書評

「ケインズ『ケインズ説得論集』—歴史的文脈の中での、資本主義の相対化—」大瀧雅之・宇野重規・加藤晋編『社会科学における善と正義—ロールズ『正義論』を超えて—』（東京大学出版会）Book Guide II-4、229－236頁

戸田 龍介（トダ リュウスケ）

1 論文

「農業所得標準と概算金の研究—日本の農業において簿記会計の普及を阻んできたもの—」『産業経理』第75巻第3号、2015年10月、65－78頁（単著）

「日本における農業簿記の研究（9）—JA北海道中央会 基本農政対策室・小南裕之室長他へのヒアリング調査—」『商経論叢』第51巻第1号、2015年10月、89－110頁（単著）

「日本における農業簿記の研究（8）—JA北ひびき 営農部経営対策課・真嶋憲一課長へのヒアリング調査—」『商経論叢』第51巻第1号、2015年10月、69－87頁（単著）

「日本における農業簿記の研究—収穫基準の両義性に注目して—」『日本簿記学会年報』第30

号、2015年7月、68-74頁（単著、査読付論文。審査受付2014年11月28日、掲載決定2015年3月18日）

「日本における農業簿記の史的展開と展望—農業税務簿記、農業統計調査、農協簿記を超えて—」『會計』第187巻第6号、2015年6月、41-55頁（単著）

「日本における農業簿記の研究（7）—全国農業経営コンサルタント協会代表理事・西田尚史税理士へのヒアリング調査（第2回）—」『商経論叢』第50巻第3・4合併号、2015年4月、119-134頁（単著）

「日本における農業簿記の研究（6）—神奈川大学経済学部・谷沢弘毅教授へのヒアリング調査—」『商経論叢』第50巻第3・4合併号、2015年4月、103-118頁（単著）

「日本における農業簿記の研究（5）—元大手ハウスメーカーS社勤務・仮名Y税理士へのヒアリング調査—」『商経論叢』第50巻第2号、2015年3月、325-342頁（単著）

「日本における農業簿記の研究（4）—ミツハシライス管理部財務課長・澤田泰二氏へのヒアリング調査—」『商経論叢』第50巻第2号、2015年3月、309-324頁（単著）

2 学会報告

「日本における農業簿記の諸展開—オーラル・ヒストリーを手掛かりとして—」（日本会計研究学会第74回全国大会、神戸大学六甲台本館2階212教室、9月7日、単独）

「学会賞受賞講演：『農業発展に向けた簿記の役割—農業者のモデル別分析と提言—』」（日本簿記学会第31回全国大会、ホテルラシーネ新前橋3階銀河、8月29日、執筆者を代表して）

3 講演・司会・集中講座等

福島大学大学院特別集中講座（東北税理士会との連携開催）：「農業における経営と会計」（福島学院大学駅前キャンパス、8月21日・22日）

講演論題：「農業及び地域の発展につながる簿記」（三重県農業大学校主催、三重県農林水産支援センター会議室、8月6日）

記念講演論題：「日本における農業簿記の史的展開と将来展望」（神奈川大学会計人宮陵会主催、神奈川大学横浜キャンパス1号館308会議室、7月10日）

講演会司会：「駐日ドイツ連邦共和国大使による講演会 欧州から見た日本」（講師：駐日ドイツ連保共和国特命全権大使ハンス・カール・フォン・ヴェアテルン氏、神奈川大学主催・横浜日独協会後援、神奈川大学横浜キャンパス16号館セレストホール、5月19日）

4 その他（研究会報告、外部資金獲得状況等）

研究会発表論題：「日本における農業簿記の研究—農業税務簿記、農業統計調査および農協簿記の3つの流れを中心に—」（九州会計研究会、九州大学経済学部2F中会議室、12月12日）

研究会発表論題：「農業所得標準と概算金の研究—日本の農業において簿記会計の普及を阻んできたもの—」（九州会計研究会、九州大学経済学部2F中会議室、11月14日）

研究会発表論題：「日本における農業簿記の諸展開—農業税務簿記，農業統計調査，農協簿記を超えて—」（会計学サマーセミナー in 九州、佐賀大学本庄キャンパス経済学部4番教室、8月18日）

研究会発表論題：「日本における農業簿記の諸展開—オーラル・ヒストリーを手掛かりとして—」（寫村会計学研究会・青山会計研究会合同研究会、立教大学池袋キャンパス12号館地下1階 第2会議室、8月11日）

研究会発表論題：「日本における農業簿記の諸展開（学会賞受賞講演&産業経理論文用）」（寫村会計学研究会、明治大学14号館6階会議室、7月25日）

研究会発表論題：「日本における農業簿記の諸展開—オーラル・ヒストリーを手掛かりとして—」（九州会計研究会、九州大学経済学部2F中会議室、6月13日）

研究会発表論題：「日本における農業簿記の史的展開と展望—農業税務簿記，農業統計調査，農協簿記を超えて—」（九州会計研究会、九州大学経済学部2F中会議室、5月9日）

スタディー・グループ研究会発表論題：「IAS第41号『農業』から見るIASB概念フレームワークの基本姿勢」（国際会計研究学会スタディー・グループ岩崎部会、神奈川大学横浜キャンパス1号館502号室、3月26日）

研究会発表論題：「日本における農業簿記の史的展開」（九州会計研究会、九州大学経済学部2F中会議室、1月31日）

中間報告書分担執筆：「IAS第41号『農業』から見るIASB概念フレームワークの基本姿勢」（国際会計研究学会スタディー・グループ岩崎部会「IFRSの概念フレームワークについて」、中間報告共著、中間報告は10月4日に専修大学神田校校舎1号館3階303教室で行われた）

外部資金獲得：平成26～28年度・科学研究費補助金・基盤研究（C）、課題番号26380626、課題名「日本の農林漁業の発展に向けた簿記会計の役割—オランダ・ドイツの事例を参考に—」

外木 好美（トノギ コノミ）

1 論文

宮川努・枝村一磨・尾崎雅彦・金榮慤・滝澤美帆・外木好美・原田信行「日本における無形資産の研究：国際比較及び公的部門の計測を中心として」RIETI Policy Discussion Paper Series 15-P-010

Hyunbae Chun, Tsutomu Miyagawa, Hak Kil Pyo and Konomi Tonogi, “Do Intangibles Contribute to Productivity Growth in East Asian Countries? Evidence from Japan and Korea”, RIETI Discussion Paper Series 15-E-055

2 著書

『資本蓄積の要因と景気循環・経済成長の国際比較』博士論文（一橋大学）

3 その他

Hyunbae Chun, Tsutomu Miyagawa, Hak Kil Pyo and Konomi Tonogi, “Intangibles and productivity growth: Evidence from Japan and Korea”, VoxEU.org – CEPR’s policy portal—（URL: <http://www.voxeu.org/article/intangibles-and-productivity-growth-evidence-japan-and-korea>）

西村 陽一郎（ニシムラ ヨウイチロウ）

1 論文

Nagaoka, Sadao and Nishimura, Yoichiro, (2015) (査読無・ワーキングペーパー) “Use of Grace Periods and Their Impact on Knowledge Flow : Evidence from Japan” RIETI Discussion Paper Series, 15-E-072

2 学会報告

Nishimura, Yoichiro, (2015) “Patent Life-cycle and Invention Life-cycle : Evidence from a Patent Utilization Survey of Japanese Firms” 2015 PDMA Research Forum, Anaheim, California, United States. Competitive Paper として報告採用決定、Online Forum Proceedings に掲載決定

Nishimura, Yoichiro, and Suzuki Katsushi, (2015) “Do Social Ties Matter for CEO Selection? Evidence from Japan” 2015 IIPR Workshop, Kochi University, Kochi, Japan. Nishimura, Yoichiro, and Suzuki, Katsushi, (2015) “Incumbent CEO-candidate Social Ties, CEO Selection and Post-succession Outcome : Evidence from Japan” 2015 Academy of Management Annual Meeting, Vancouver, British Columbia, Canada

Nishimura, Yoichiro, (2015) “Is Patenting a Silver Medal? Implications for Corporate Patenting Strategies and Corporate Competitive Advantage” TIM Junior Faculty Consortium, 2015 Academy of Management Annual Meeting, Vancouver, British Columbia, Canada

Nagaoka, Sadao and Nishimura, Yoichiro, (2015) “Use of Grace Periods and Their Impact on Knowledge Flow : Evidence from Japan” 2015 EARIE 42nd Annual Conference, Ludwig-Maximilians-University, Munich, Germany

比佐 章一（ヒサ ショウイチ）

1 論文

「新規公開市場のアンダープライシングと景気循環の関係—隠れマルコフモデルによる分析—」『商経論叢』第51巻第1号（共著：比佐章一・比佐優子）、2015年10月

松村 敏（マツムラ サトシ）

1 論文

「巨大製糸小口組の発展と展開：1903－1931年—『匿名組合』の本支店経営—」『商経論叢』第50巻第2号、2015年3月、357～433頁

三島 斉紀（ミシマ ムネノリ）

1 著作

『マズロー理論研究序説—「自己実現」概念とその経営学的意義—』（編著）まほろば書房、2015年3月

2 研究会報告・特別講演等

「A. H.マズローの著書 *Motivation and Personality* について」九州心理学会 第76回大会（大分県立芸術文化短期大学）、2015年11月

Munenori MISHIMA et al, “A Study of Changing Japanese Family”, *The 7th Korea and Japan Business Research Seminar*, South Korea, Myongji University, March, 2015

「日本における若者の雇用格差問題について」内蒙古師範大学大学院経済学研究科・特別講演（中華人民共和国・内蒙古師範大学）、2015年3月（通訳者有り）

「日本における大学生の内定状況について」内蒙古師範大学外国語学院日語系・特別講演（中華人民共和国・内蒙古師範大学）、2015年3月（聴衆が日本語学専攻の学部生たちであったことから、通訳者なし）

3 その他

「A. H. マズローの著書 *Motivation and Personality* について」（単著）『九州心理学会 第76回大会プログラム・発表要旨』、2015年10月、24頁

森田 圭亮（モリタ ケイスケ）

1 査読付き論文

Advance tax payment and tax evasion: Expected utility analysis, *The Singapore Economic Review* 59 (2), 2014

2 学会・研究会報告

Tax Evasion and Penalty Structure, the 90th Annual Conference of the Western Economic Association International, 2015

Tax Evasion and Penalty Structure, the 71st Annual Congress of the International Institute of Public Finance, 2015

3 そのほか

Served as a chair in the 71st Annual Congress of the International Institute of Public Finance

山口 拓美 (ヤマグチ タクミ)

1 翻訳

テッド・ベントン「マルクスの人間論と動物論—人間主義か自然主義か—」 神奈川大学経済学会『商経論叢』第51巻第1号、2015年10月、111-146ページ

山本 崇雄 (ヤマモト タカオ)

1 学会・公開研究会報告

“Managing Explorative Activities and Dual Embeddedness in Foreign Subsidiary : A Case Study in Japanese MNCs,” 8th Annual Conference of the Euromed Academy of Business, University of Verona, 2015.9.17

「海外子会社の探索的活動と二重の埋め込みのマネジメント」、神奈川大学アジア研究センター、2015年9月30日

山本 通 (ヤマモト トオル)

1 論文

「救済予定説とプロテスタントの職業倫理」『商経論叢』第51巻第1号、2015年10月、1-49頁

「イングランドの工業化と宗教：再検討」『商経論叢』第50巻第3・4合併号、2015年4月、1-34頁

2 書評

「諸田實著『「新聞」で読む黒船前夜の世界』」『神奈川大学評論』第82号、2015年11月、170-171頁

3 その他

「『よき便り』から」『一橋大学基督教青年会会報』第64巻、2015年12月、8-13頁

「尾原悟『ザビエル』」『一橋大学基督教青年会会報』第64巻、2015年12月、65-67頁

「梅津順一『ピューリタン牧師バクスター』」『一橋大学基督教青年会会報』第64巻、2015年12月、67-69頁